

第4回大月市立小中学校適正配置審議会会議録

- 1 日 時 平成17年11月25日(金曜日)
開 会 午後7時00分 閉 会 午後9時00分
- 2 場 所 市民会館4階会議室
- 3 委員の出欠 出席者 天野会長、棚本副会長、杉本委員、佐藤(尚)委員、
萩原委員、石井委員、相馬委員、小原委員、金子委員、
三木委員、秋山委員、平井委員、小林(功)委員、小林
(一)委員、山浦委員、渡辺委員、藤巻委員、佐藤(章)
委員、小俣委員
欠席者 小池委員
- 4 事務局の出欠 出席者 山口教育長、小笠原参事教育次長、坂本学校教育課長
伊奈学校教育課主幹課長補佐、鈴木学校適正化推進担当
- 5 付議事件 (1)シミュレーション集約案(中学校)の報告及びシミュレ
ーション(小学校)の検討
(2)その他
- 6 議事の概要

付議事件

- (1) シミュレーション集約案(中学校)の報告及びシミュレーション(小学校)の検討について
会長より事務局から事前に提出された会議録内容の確認及び各委員による大月市の小学校をめぐる状況や将来動向を踏まえた適正規模・適正配置シミュレーション結果の資料に基づき討議を行うとともに、各委員による質疑応答がなされ、今後の適正配置を進めるうえで貴重なご意見をいただいた。
- (2) その他について
審議会開催回数を5回から最大回数7回に変更する事の承認がなされた。
なお、議事内容については、以下のとおりである。

議事 (1) 第 4 回 審 議 会 の 開 催 に あ た り 、 会 長 か ら あ い さ つ が 行 わ れ た。

(2) 事 務 局 か ら 配 布 資 料 が 行 わ れ た。

(3) 概 ね 、 以 下 の よ う な 質 疑 応 答 が 行 わ れ た。

会 長 中 学 校 の シ ミ ュ レ ー シ ョ ン は 3 校 案 か ら 2 校 案 程 度 に し た い 。 本 日 は 小 学 校 に 関 し て の ご 意 見 ご 質 問 を お 聞 き 致 し ま す 。

委 員 本 校 を 分 校 に 戻 す 考 え は な い の か 。 (4 年 生 ま で 分 校 5 , 6 年 生 は 本 校 へ)

事 務 局 過 去 の 経 過 や 色 々 な 考 え は 有 る が 、 基 本 的 に こ の 審 議 会 で 適 正 規 模 ・ 適 正 配 置 に 留 意 し て 頂 き な が ら 学 校 集 約 を す る 方 向 で ご 検 討 し て 頂 き た い 。

委 員 分 校 の よ う に 小 人 数 だ と 特 別 に 支 援 が 必 要 な 児 童 に も 目 が 行 き 届 く と 思 い ま す が ど う で し ょ う 。

事 務 局 国 の 特 別 支 援 教 育 制 度 に お い て こ の よ う な 問 題 は あ る 程 度 解 消 さ れ る と 思 い ま す 。

会 長 こ の 問 題 に つ い て は 、 現 行 制 度 に お い て 解 消 さ れ る と 思 い ま す 。 前 回 報 告 書 の 中 学 校 で 確 認 さ れ て い る 事 柄 は 小 学 校 に つ い て も 関 わ っ て く る と 思 わ れ ま す 。

委 員 小 学 校 の 低 学 年 と 高 学 年 と で は 同 じ 扱 い の 考 え 方 は ど ん な も の か 考 え て も ら い た い 。

会 長 そ れ 程 心 配 し な く て も 宜 し い で し ょ う か 。

委 員 以 前 分 校 が あ っ た の は 、 小 さ な 児 童 が 本 校 ま で 歩 け な か っ た の で 、 や む を え ず 分 校 が あ っ た 。 し か し 今 は ス ク ー ル バ ス で 解 消 さ れ る の で 分 校 は 必 要 な い の で は 。

委 員 私 も 分 校 に 通 っ て い た 。 (そ の 当 時 の 通 学 の 様 子 を 語 る) 現 在 、 小 規 模 校 に な っ て い る 当 時 の 分 校 は デ メ リ ッ ト の 方 が 多 い と 思 わ れ る 。

会 長 こ の 件 に つ い て は 、 あ ま り 心 配 し な く て も 良 い の で は な い か 。 次 に 進 め さ せ て 頂 き ま す 。 小 学 校 の シ ミ ュ レ ー シ ョ ン が 多 数 出 さ れ て お り ま す が ど の よ う な 方 法 で 行 い ま す か 。

事 務 局 よ り 、 前 回 資 料 に 基 づ き 小 学 校 に つ い て の シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 結 果 の 考 察 説 明 を 行 っ た 。

- 会 長 試案を出した方々のご意見ございますか。
- 委 員 この審議会は通学方法も検討するのか。
- 事務局 この度の諮問事項にも付記されていますのでそれを踏まえて答申に盛り込みたい。
- 委 員 小学校5校案の場合交通手段（スクールバス）によっても変わってくるのでは。
- 委 員 我々が試案した中にはスクールバスについても勘案し作成してある。
- 事務局 今までの統合条件(交通手段)は、基本的にスクールバスで対応している。
- 委 員 通学路等を考えるとわずかな審議会で対応できるのか。
- 事務局 地形的な事柄等を前提としながらシミュレーションを考えて頂いたのだからさらに交通手段を当てはめて考えてもらいたい。
- 委 員 統合しスクールバスの場合、小学校の低学年から高学年の児童と一緒に帰宅するのか。
- 事務局 現在、七保小及び猿橋小の一部地域において登下校スクールバスによる対応がなされている。又、終業時間が異なるため低、高学年を段階的(早便、遅便)に分けて対応がなされているので心配しなくてもよいのではないかと。
- 会 長 その点については現在行っているのご心配なさらなくても良いとのことでご理解願いたい。
それでは、5校案について具体的にご意見を頂きたい。
- 委 員 適正化を進める上で諸々の条件(地域性等)をクリアしなければならぬが、5,6校に絞りすぎると危険性がある。統合を早期に行う学校、行わない学校を総合的に勘案するなかで順次見直して行ったらどうか。
- 委 員 この審議会ではある程度集約した答申(5校案)を行い、その後それらを基本に地域で決めて行かなければならないと思う。
- 委 員 現在15校ある学校を段階的に集約し、最終的に5校案にしてはどうか。また、シミュレーション結果を考察すると地域によっては一致した部分もある。そういった地域から順次、適正化を進める事を答申に盛り込んだらどうでしょうか。
- 会 長 同じようなご意見を頂きたい。

委員 皆さんのシミュレーションを見ると、H23年頃の統合が多く見られる。有る程度、年度におもむきを置くと具体的になると思う。

会長 筋道として年度で追ったらどうかとのご意見です。

委員 私も段階的な方法で適正規模の統合を考えたが、いままでの各委員のご意見を考察すると、一部地域で考えるよりも登下校の細かなルートの条件等が確保されれば、ある程度全体的な枠組みで検討したらいかがでしょうか。大規模校でのデメリットもあり思案している。低学年で学級規模によってST等のきめ細かな指導をしていただいているが40人1クラスだと目が行き届かなく不安であることも解って欲しい。

会長 更にご意見を伺います。

委員 統合しても各学校で40人学級の可能性もある。他市町村にくらべ大月の場合、STを付けてくれているので非常に良い環境だと思う。

会長 前回中学校の論議にもありました加配、きめ細かな教育問題と共通していると思われれます。

委員 色々なご意見があると思う。自然と近い学校との統合が考えられる。スクールバスの問題はあるが、大前提として地域性でシミュレーションして5校案になった場合でも各校の児童数のばらつきは、ある程度仕方がないと思われる。

会長 具体的に例を出していただきたい。

資料を配布し、委員よりシミュレーション案の説明が行われた。

会長 質問、ご意見等がありましたらよろしくお願いします。

委員 補足説明しますと近い将来新たなバスシステム計画（市民バス）も勘案する中で作成した。

事務局 市民バスの件についてはある程度案が決まった段階で担当課による説明をして頂くことになると思うが、今の段階ではこのような考えもあることをご理解願いたい。

会長 その事も考えながら自由に発言していただきたい。

委員 地域によっては集約したり、又、一つの学校（宮谷小）を分けたりして統合を考えて行かなければならないと思うがどうでしょうか。

- 会 長 宮谷小が猿橋、鳥沢小に分かれてもいいのではとの事ですがいかがでしょうか。
- 事務局 現在は学区が定められている。色々な事情の中すべて自由ではないが、教育委員会で認められる範囲で学区外の許可をしている。また前回の審議会でも資料を出して説明をさせて頂いた。
- 会 長 弾力的に考えられるとのことです。他のご意見を願いたい。
- 委 員 皆さんのシミュレーションを考察すると一校一校考えた時、距離的に近い畑倉小を七保小に統合することは考えられないか。
- 委 員 当然そのことも考えてシミュレーションしています。色々な事が想定されます。小学校から中学校まで一緒が良いと考える。
- 委 員 地域の学校へ行くのか、またある程度自由にするかで違ってくるのでは。
- 委 員 学区外へ行く原因に各学校が小規模であり、ある程度大きくなればそのことも解消されると思う。今、大月の現状を総合的勘案した場合、5校案を段階的に行って行く答申が必要だと思う。
- 委 員 15校を5校にまとめる事は強行だと思う。ある程度自由であるなら意味がないと思う。
- 事務局 学区を定める事は、基本的にその学区に就学してもらおう。但し、特別の事情がある場合は学区外通学も認めます。都では学区の全廃などを行っている。
- 委 員 調査し自由学区制を行っている地域（品川区）では交通網が整備されている。大月では参考にならないと思う。
- 委 員 時期的な事は、あるが5校でよいと思う。
- 会 長 5校案以外の考えの方はどうですか。
- 委 員 地域で賛同されない答申を出してもなにもならない。答申は重く受け止めなければならないと思う。そう考えると地域的に賛同が得られる数校に絞って検討したらどうか。
- 会 長 先ほど個別の学校に絞るのではなく、全体で考えれば市民に理解できるのではないかとのご意見があったがどうでしょうか。
- 委 員 全体的だと思うが無理な答申は出さない方がよいと考える。地域の代表で

もあり立場上の代表でもある委員の方々ですので、そのような地域の委員に意見を出してもらいたい。5校案は危険性があると思う。

会 長 いかがでしょうか。

委 員 学区の再編成、拡大を進めると場所も含めた新たな学校建設も考慮しなければならいと思う。また、学区拡大に伴って適正な地区を勘案し決定したらどうか。学校とは現在ある校舎のことなのでしょうか。

会 長 現在あるどこかの学校を使用するのが市の考え方で、委員は学区の中に新たに学校設置を進めるべきではとの事です。

事務局 学区を統合して学校を設置することは良いと思う。財政状況が厳しい折り使用できる学校の精査を行い、学区を拡大してその中心で効率的な場所で、出来るだけ現在の施設を利用しながら学区の編成を行ってほしいと考えています。

委 員 今ある学校は、老朽化していくので自然と違う場所に学校建設をして行くと思うが。

会 長 新しい所に建設すればクリアーできる問題もあるが財政的に無理がありそうです。

委 員 統合を行う時には、通学方法が何よりも問題だと思う。

事務局 統合を行うと通学距離が長くなる。スクールバス等の交通手段を総合的に考えながら市民にご理解して頂く問題だと思います。

会 長 通学については、今までの論議で結論づいた気がします。問題は、5校案を出すべきかだと思う。統合である以上、今ある所でなく新しい所に学校を作る事によって住民の理解を得る、このような意見が出ていた訳ですが5校案についても少しまとめていきたい。

委 員 これからの教育は、しっかりしたビジョンがあり、それを受けて学校長や先生方が地域で教育を作り又、地域の方々の考えが子ども達に反映され一緒になって作られると思う。地域的にも広域で危惧される、賛否は言えないうが5校と決めるのはそのような意味でも心配がある。
例えば、西小は本当にどちらに入ったら良いだろうかもう少し全員でこんな思いがあると言うことをもう少し答申に出して行くことが大事だと思う。

委 員 この審議会は地域、子ども達の安全、また児童数の三位一体となって初めて実行される。その内の一つでも欠けたら答申を出しても地域では認めら

れないと思う。

委員 それは当然だと思います。

委員 数年前、私の地域で小学校を建設しました。当時3年を費やして地権者30人に対して、全て地元の人達で事業を行った。先祖伝来の土地を提供して頂くには非常に厳しいものがあった。教育の為だと地域の人達も協力した。それが最近のことで、この審議会で何年に統合するのでは地域としてあまりにも悲しい話である。もし統合するなら誰が見ても早急性がある数校にして、あとは5,6校案だとか、あまり触れない方が良いのではないか。

会長 前回と同じ意見ですね。

委員 それはどこの地域でも同じ事だと思う。我々も色々考えながら地域住民を説得している。この審議会は答申案をまとめることが重要で、後は教育委員会の判断である。最終的に賛否を問えば良いと考える。

会長 その地域についても、数年先には児童数が25人、あるいは18人になると思われますが。

委員 色々あるが小学校については、5,6校に絞って行かなければならないと思われる。私は、通学問題について解決しないと地域住民から反対が出ると思う。学区外申請をどのような理由で認めているのか。

事務局 教育委員会を開催し委員全員で協議を行い、妥当と認められる範囲で許可しているのでご理解願いたい。

会長 時間が来ました。おおかた5校案で進んでいますが、その他のご意見もあります。この点を次回審議会ですべて審議したいので宜しくお願いします。

最後に、会長より、次回、日程を平成18年1月13日(金)午後7時より市民会館と決め閉会した。